



RCE Chubu

A Regional Centre of Expertise on Education for Sustainable Development,
acknowledged by United Nations University

「SDGs達成に向けた日本の祭りと生物多様性保全プロジェクト」

八百津だんじり祭

藤の蔓(ツル)から考える人と自然の共生

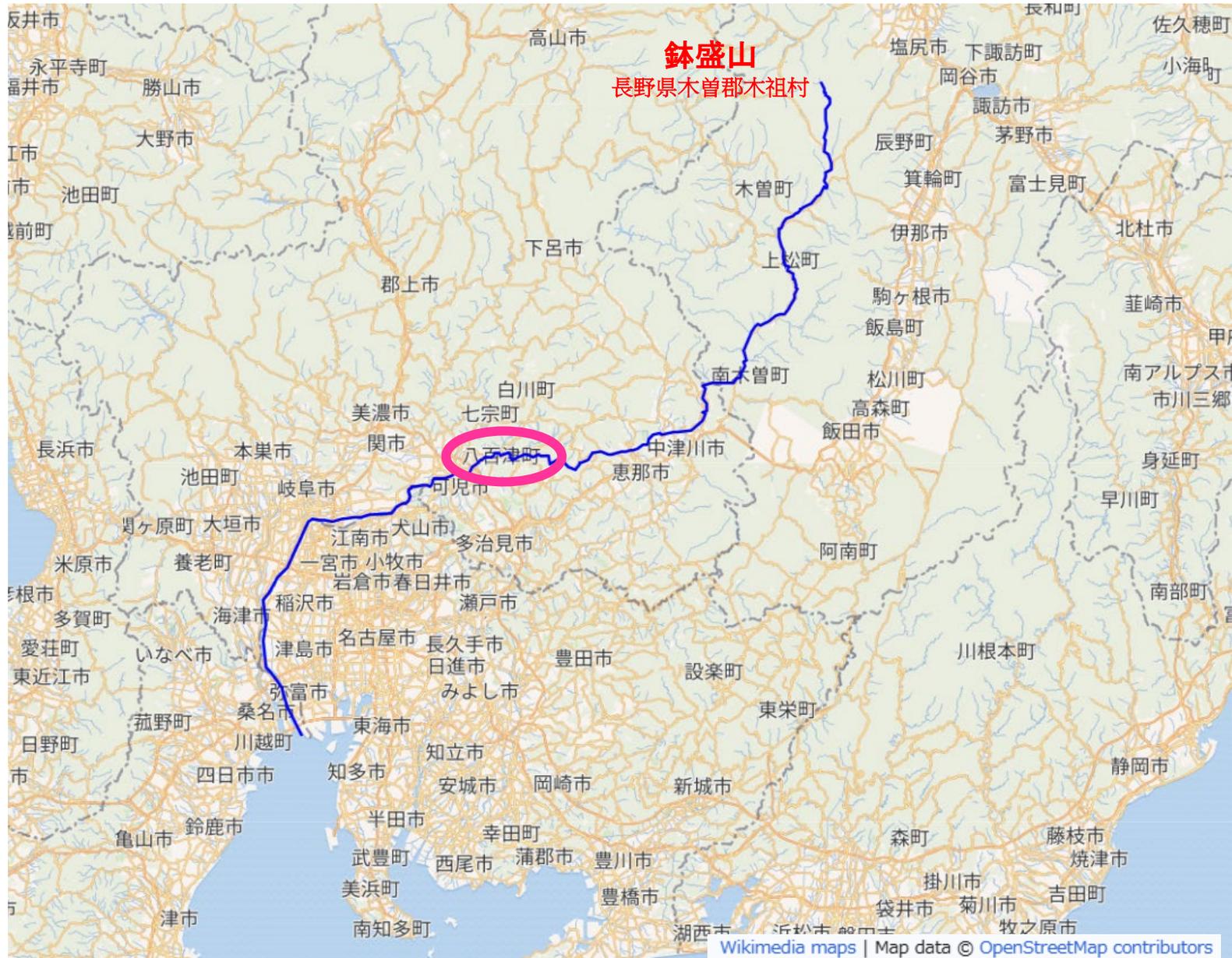


八百津だんじり祭





八百津の林業とフジ





飛騨川

八百津

木曾川



錦織湊

木曾川



犬山



錦織綱場(明治34年)

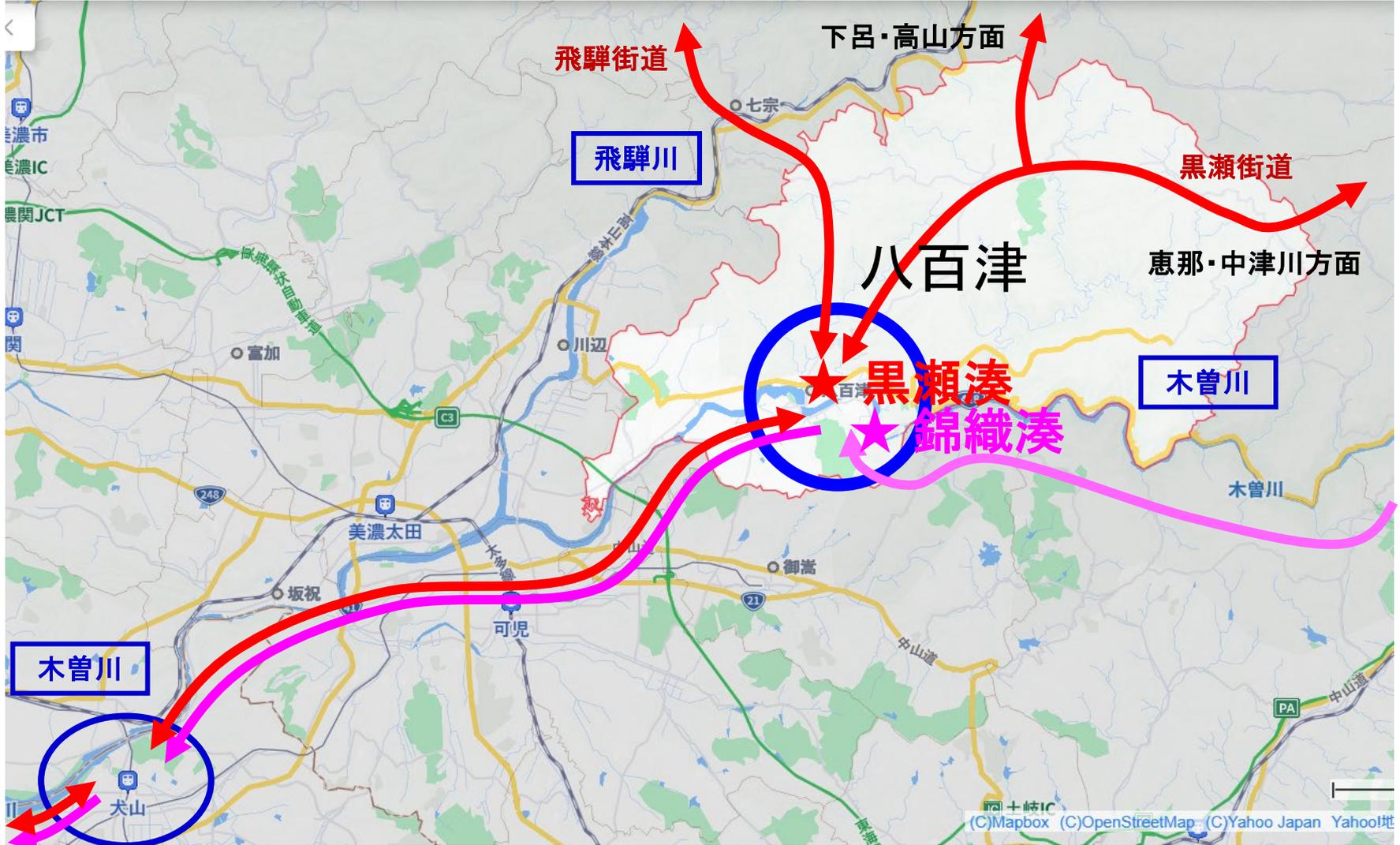


錦織綱場(明治末期) 筏組みの作業



いかだが出発するところ





飛騨街道

下呂・高山方面

八百津川

黒瀬街道

八百津

恵那・中津川方面

黒瀬湊

木曾川

錦織湊

木曾川

木曾川

犬山

フジとだんじり



旧八百津発電所資料



岐阜県川島町「川島ふるさと資料館」
(現 各務原市木曾川文化史料館)



拡大



藤採り

水浸け

水揚げ

山絡げ

試樂・本樂



保管

3週間

1週間

2週間

4月
第二日曜 本樂
その前日 試樂

1月末～2月初

これ以上遅くなると藤が水を吸い上げ始め使用するとき藤の皮が剥がれてしまう。



山絡み (だんじりの組立)







八百津だんじり祭り

藤のツルから考える人と自然の共生

第11回ワークショップ

このプロジェクトは、日本の伝統的な祭り（祭礼）に登場する生物（植物・動物・儀礼食など）をとりあげて、人と自然との共生の知恵を学びます。また同時に、近代化とともに変化した自然環境や、そのことによって引き起こされる新たな課題を学ぶことで、伝統知と未来の社会づくりとの結節点を探り、課題解決の担い手を育てます。第11回ワークショップでは、岐阜県加茂郡八百津町の「八百津だんじり祭り」で、山車の素材として使われる藤（フジ）の森での役割りと、人との関わりについて考えます。

2023年1月28日 ± 8:00 ~ 16:30
(第2部からの参加も可能です)

八百津本町公民館 (岐阜県加茂郡八百津町八百津4102)

プログラム

第1部 8:00 ~ 11:30 体験セッション
「藤取り体験をしよう」(山車を縛る藤のツルを山に採集にいきます)
※開始時間が早いため、昼からの参加も可能。雨天の場合は、藤のある環境や山車が通るルートを車移動で見学
12:00 ~ 13:30 昼食 (三勝屋) ※昼食は実費です

第2部 13:30 ~ 15:00 学びのセッション「藤と人と里山」
趣旨説明：古澤礼太 (中部 ESD 拠点事務局長、中部大学准教授)
講演：「受け継がれる藤のツルと八百津だんじり祭り」
講師：市岡和男 (黒瀬組)
講演：「藤の森での役割り」
講師：竹島喜芳 (中部大学准教授)

第3部 15:30 ~ 16:30 交流セッション
16:30 終了

参加費

大人 300 円、中学生以下100 円、未就学児無料 (昼食は別途実費)

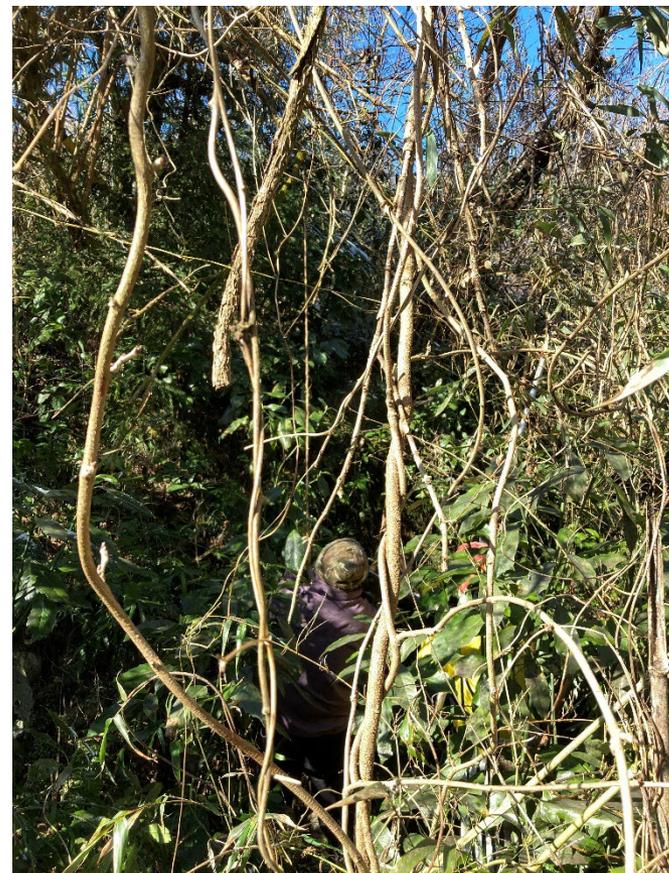
申込方法・締切

右の QR コードで、申込フォームからお申込みください。
<https://forms.gle/qbo6orxAaNGhzFfM7>
申込締切：1月26日(木)まで

お問合せ先

中部 ESD 拠点協議会 (事務局：中部大学国際 ESD・SDGs センター内)
Tel: 0568-51-4485 E-Mail: office@chubu-esd.net
Web-Site: www.chubu-esd.net



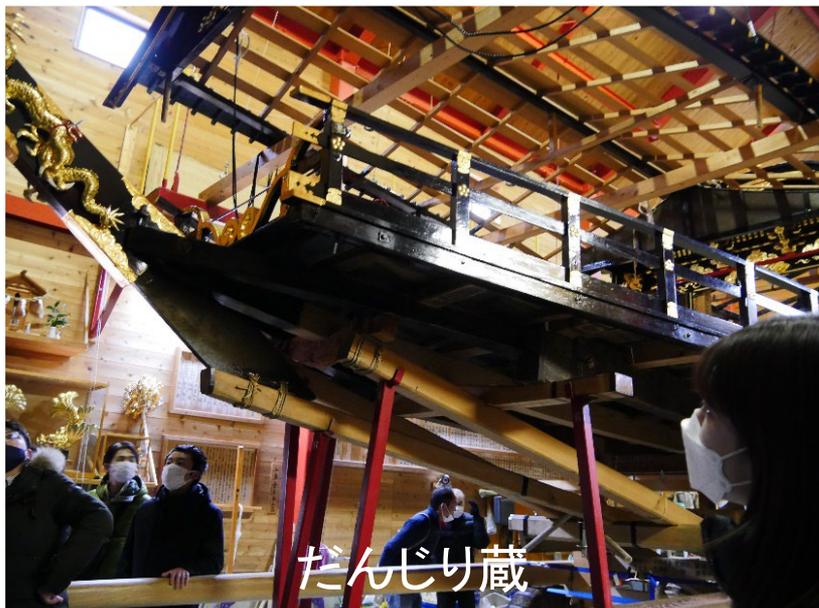




錦織網場跡



黒瀬湊常夜燈



だんじり蔵





ヒノキに絡まった藤蔓